消防団の活動

発災時の働きと平時の備え

火災、地震、台風などの災害は、時と場所を選ばず私たちを襲ってきます。災害が発生した場合には、消防署と一体となって活動し、街と住民を守るのが消防団の大きな役割です。そのため、日ごろから万一の災害に備えた訓練やパトロールなどを定期的に行っているほか、火災予防運動や地域の行事などで防災への呼びかけを行っています。

発災時の活動

消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を生かした消火活動を行います。

また、水害発生時は「水防団」として、被害の拡大防止や救助活動にもあたります。

さらに大規模な災害時、例えば、阪神・淡路大震災や東日本大震災の際に消防団は、消火活動のほか、要救助者の探索、救助、給水、危険箇所の警戒など、幅広い活動に従事しました。特に、日頃の地域に密着し